

平成27年度 第3回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

- ◆日 時：平成28年2月22日（月）（14：00～16：30）
- ◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室
- ◆出席者：吉川委員（座長）、大西委員、前川委員、湯口委員  
事務局：中谷、塚本、阪口

発言者	発言概要
事務局	<p>■委員全員の出席により会議が成立していることを報告。</p> <p>■傍聴人の確認 ⇒傍聴人なし。</p> <p>～座長による議事進行～</p> <p>■第2回の議事録の確認 ⇒一部、語句を修正する。</p> <p>■各施策及び事業の進捗状況の確認</p>
座長	<p>本日の議題として、今年度のフォローアップ会議報告書（以下、「報告書」）についての議論を行いたいと考えている。事前に事務局に作成を依頼した報告書素案（たたき台）について、各委員のご意見等を伺いたいと考える。初めに事務局から、報告書素案（たたき台）の概要についてご説明いただきたい。</p>
事務局	<p>報告書素案（たたき台）の概要を説明させていただく。</p> <p>全体の構成としては、例年の報告書を踏襲する構成としており、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・Ⅰ．フォローアップ会議の基本方針</li> <li>・Ⅱ．総合計画の進捗状況の評価</li> <li>・Ⅲ．担当課との意見交換</li> <li>・おわりに</li> </ul> <p>という章立てとした。</p> <p>「はじめに」の部分では、フォローアップ会議の趣旨や過去の経過に触れるとともに、今年度の取り組みについて記載している。</p> <p>「Ⅰ．フォローアップ会議の基本方針」では、「2．今年度会議のあり方」において、今年度は、これまでの取り組みの経過を踏まえて「総合計画の実効性を担保するための評価の継続」と「市民と行政の相互理解を深める」の2つに視点を置き、取り組み状況の点検や担当課との意見交換を行ったと記載している。</p>

	<p>「Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価」では、総合計画の進捗状況を評価するために、「基本計画第1章」(横系)と「基本計画第2章」(縦系)、それぞれの取り組み状況を点検した結果を記載している。</p> <p>「1. 基本計画第1章について」では、今年度の点検結果を評価も含めて記載するとともに、“3つのしくみづくり”には、さらなる取り組みの余地が考えられること、フォローアップシート等の市民と行政の共通財産は、有効活用されることが重要であることを記載している。</p> <p>「2. 基本計画第2章について」では、継続評価の有効性という観点から、一昨年から同一事業で点検を実施した事務事業評価表の点検結果を、その評価と課題も含めて記載している。</p> <p>「Ⅲ. 担当課との意見交換について」では、昨年度に引き続き実施した「担当課との意見交換」の結果について、担当課での事務事業実践過程における“結び目”を再確認できた点、“結び目”を作り・育てていくための取り組みを確認することができたという点、さらにはこうした気づきの機会が今後も重要である点を記載している。</p> <p>「おわりに」では、今年度のフォローアップ会議における議論の結果を、全体的に総括する形で記載している。</p>
座長	<p>全体の構成としては、これで良いと思うがどうか。</p> <p>(各委員了承)</p>
座長	<p>それでは、報告書の中身について論議したい。</p> <p>各委員、ご意見があればお願いしたい。</p>
委員	<p>「Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価」の「1. 基本計画第1章について」について、市民と行政の共通財産である本会議の資料は有効活用される必要があるが、ウェブサイトに掲載するだけでなく、積極的に外部へ発信するなどしても良いと考える。本会議が開催されたことを、たとえばフェイスブックを活用するなど、広く情報発信していくことで、周囲から関心を持ってもらい、それが財産の有効活用にも繋がるのではないかと考える。</p>
座長	<p>ウェブサイトでの掲載方法についても、見つけやすい場所に載せることで、より財産の有効活用に繋がるのではないかと考える。</p> <p>次に、「Ⅲ. 担当課との意見交換について」について、昨年度と今年度で総合計画全体を網羅できたことは、本会議にとって大きな意義があると考えます。</p>
委員	<p>同感である。今後もこうした取り組みを継続することができれば、新たな面も見えてくるかもしれない。</p>

	次に、“結び目”という表現について、“結び目”は市民と行政との間で様々な対話があって、作られるものであることから、“結び目づくり”とした方が、より正確に市民と行政が協働していく姿を表現できているのではないかと。
座長	その趣旨は理解できる。“結び目”を作るための取り組みは、新たな“結び目づくり”を促す取り組みと言える。
委員	「おわりに」について、市民と行政の相互理解を深めるための取り組みについては、意見交換の機会だけではなく、さらなるしくみも必要ではないかと考える。
座長	確かに継続するだけでなく、さらなる発展に期待したいので、そうした思いを報告書に記載したい。
委員	フォローアップ会議で毎年提示している工程表については、今年度も提示するべきだと考える。
座長	工程表について議論はしていないが、どういう位置づけで載せるかが重要であると考えている。昨年度までの工程表は、第4次総合計画の期間中、こういう考え方で取り組んでほしいという意思表示であったが、今年度については、総合計画という大きなPDCAサイクルの中で、フォローアップ会議は「C（Check＝評価）」の部分を担当してきたが、次期総合計画という次の「P（Plan＝計画）」に向けて、フォローアップ会議の評価を「A（Action＝改善）」として繋げてほしいという意思表示として提示していきたいと思うが、どうか。
	（各委員了承）
委員	報告書については、これ以上の意見はないが、第1回会議でも提案したように、これまでの経緯を振り返り、次に繋げていくことも必要だと感じている。
座長	本会議としては、第4次総合計画の基本理念が次期総合計画に継承されていくことが必要だと考えていることから、これまでの議論を振り返ることは重要であると考えている。
	以上で、報告書全体についての議論を行ったことになる。
	今回の会議内容を踏まえた報告書修正案を作成し、各委員から報告書に関する最終意見を頂戴した上で、今年度の報告書としてとりまとめたいと考えるが、市長報告までのスケジュール案について事務局から願います。
事務局	今回の会議内容をもとに報告書修正案を作成し、2月26日（金）を目途に全委員へ送付させていただくので、3月4日（金）までに事務局までご意見をいただきたい。それらを反映した報告書最終案を市長報告会までにお渡しするよう形を進めさせ

座長	<p>ていただきたい。</p> <p>事務局から説明のあった日程で、報告書修正案に関する意見を必ず事務局までフィードバックしていただきたい。それを受けての報告書最終案については、大きな修正等があり再度確認が必要であれば、市長報告会までに調整をしたいと思うが、問題がないようであれば、私のほうで事務局と微調整したいと考えるが、一任いただけるか。</p> <p>(各委員了承)</p>
事務局	<p>次回会議については、議事録及び報告書の確認作業のみとなるため、市長報告の30分前に集合する形で良いか。</p> <p>(各委員了承)</p> <p>次回の日程確認をして終了。  (第4回は、3月14日(月)14:30~5階政策推進課内会議室で行う。)  ※市長報告は15:00~</p>